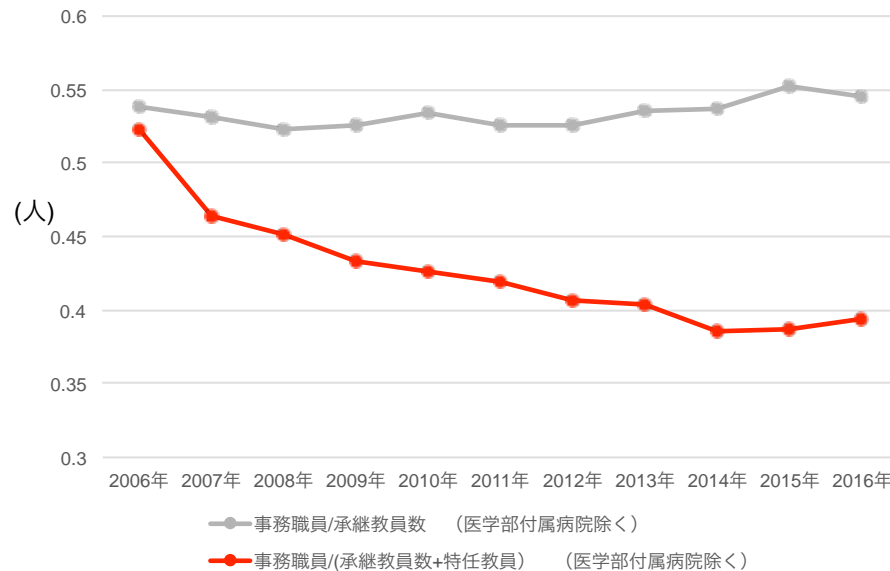
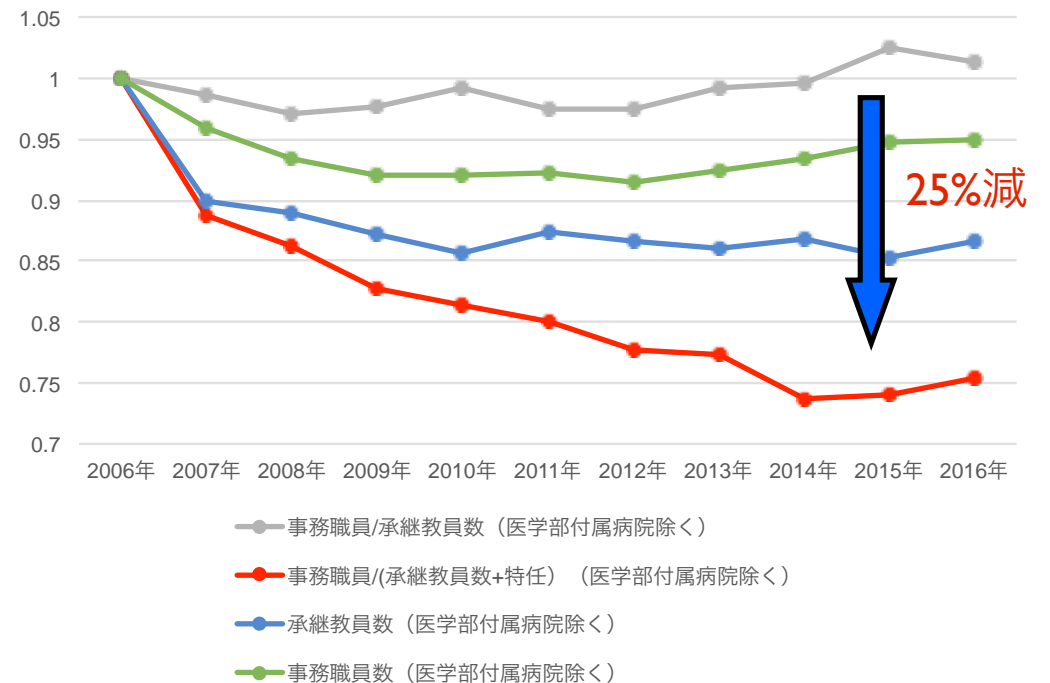


名古屋大学における教職員数の推移と 教員に対する事務職員の比率

教員1人当たりの事務職員の数



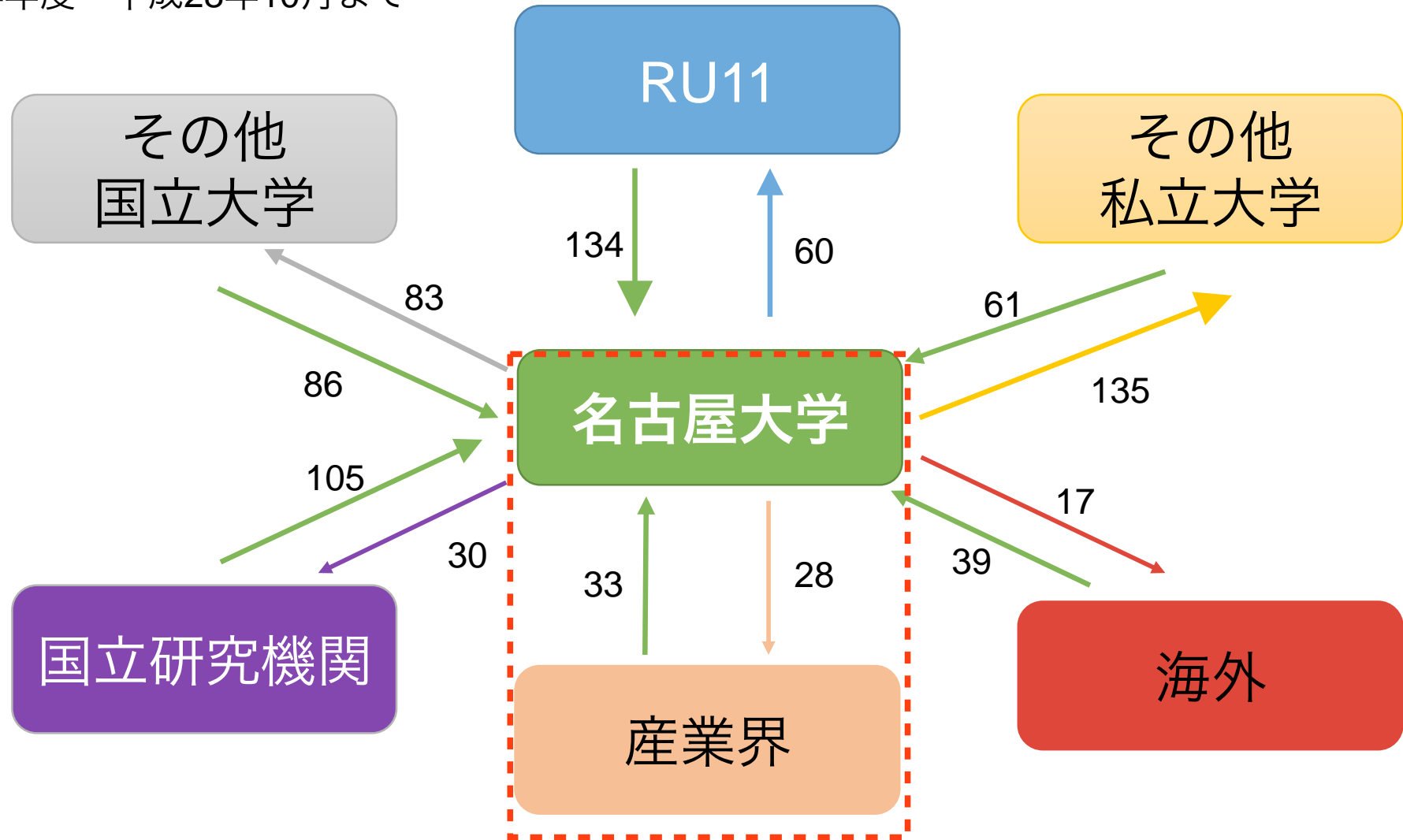
10年前を基準とした教員及び事務職員数の変動



教員一人当たりの事務処理負担が25%増

名古屋大学教員の出入り（最近5カ年）

平成24年度～平成28年10月まで



👉 大学から産業界への移動が統計的に少ない中、**名大は産業界との人事交流が活発**

(1) 共同研究として受け入れた経費の執行について

本学では、大学のルールに沿って執行することになります。国立大学法人は、国の会計制度に準拠してつくられた会計規程（大学のルール）に沿って経費を執行しています。また、文部科学省から「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に沿った取組の推進が求められています。

[企業側の考え方]

大学は、最も厳しいルールによるチェック体制のため煩雑である。企業においては、ある程度のラインで判断基準を設けて効率的に経費の執行を行っている。不正等に関しては、やった本人が処罰されるだけのため、大学においても費用対効果を考慮する必要もあるのではないか。

(2) その他意見

各府省の政府系補助金(委託契約を含む)は、補助金適化法（補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律）に基づき予算執行することとなります。また、各補助金には個別に交付要綱、事務処理説明書等が定められており、これに沿って事業を実施することになります。

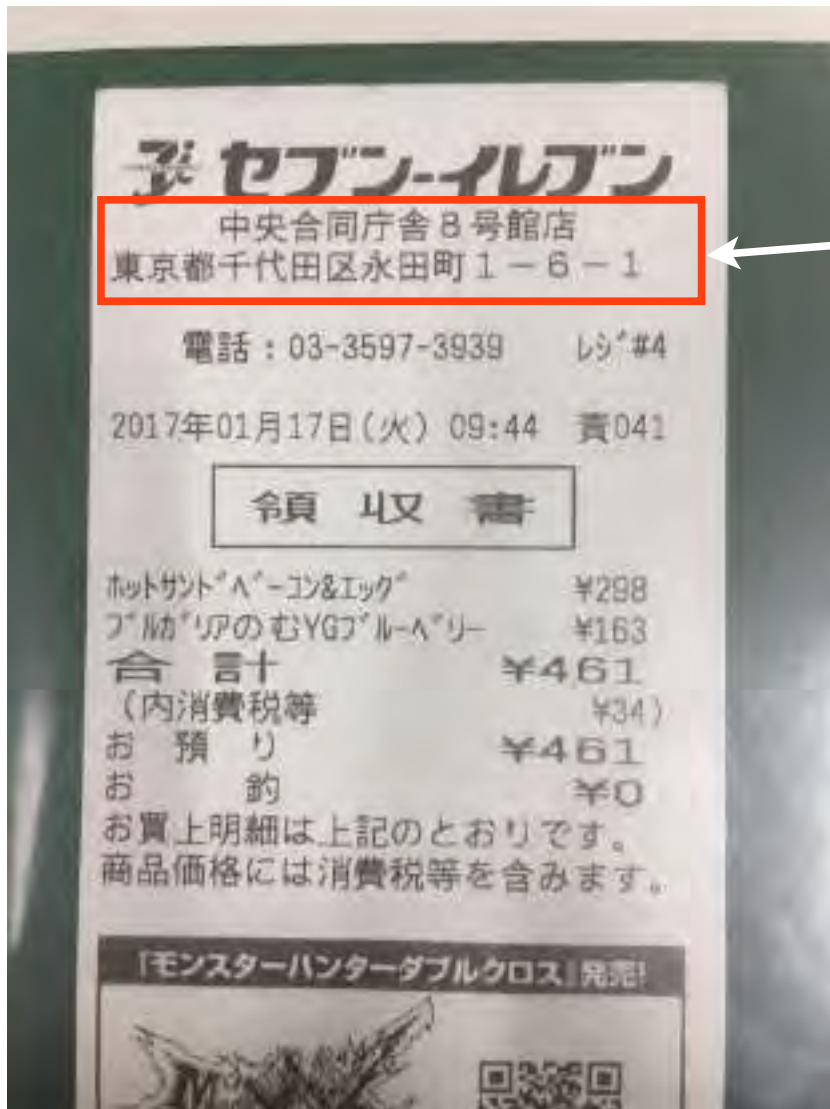
そのため、複数の補助金を受ける大学としては、執行条件等にばらつきがあるため統一化を図っていただきたい。

[補助金の例]

- ①支出の証拠書類が補助金によって異なることがある。
 - ・少額な契約であっても見積合わせ(合見積書)やカタログが必須のもの。
- ②補助金専従の教員人件費であっても、労災保険料事業主負担分は直接経費では認められず大学負担となるものがある。
- ③交付決定時の費目（人件費、設備備品費、消耗品費、役務費等）間の流用手続きが補助金によって異なる。
- ④直接経費以外の経費が、“一般管理費”となっており間接経費のような執行の自由度がないものがある。

(4) 過度の不正再発防止策 (ローカルルール)

出張エビデンスの例 (内閣府出向の場合)



内閣府に出向したエビデンスとして出張報告書と合わせて、出向日毎のレシートを毎回事務に提出
(新幹線チケットは提出不要 (名大))

(1) 繰越手続きが非常に面倒

- ☞ 対財務省への説明関係書類に一字一句修正が入る
- ☞ 繰越額を一度返還する必要があり、翌年度に入金後執行可能

【補足説明】

補助金を繰越する場合に、日本学術振興会に申請し、文部科学大臣を通じて財務大臣へ繰越承認要求を行う必要があります。財務大臣の承認を得た上で、翌年度に当該経費を繰越して使用することができます。そのため、学振（JSPS）との事務的な繰越手続きが非常に煩瑣であり、当初の申請がそのまま通ることは稀で、殆どの方は財務大臣承認が得られるよう複数回の修正が求められ、長い場合では一カ月以上、通常では2～3週間程度要します。記載方法が詳細に決められており、繰越事由に当てはまらなければ繰越不可となります。その事由を記載するには**最大200文字**となっており、この範囲内で簡潔、かつ、**やむを得ない事由を1研究課題毎に作成・説明する必要があるため、非常に事務コストがかかります**。科研補助金の種別や金額で変わることはありませんが種類や金額が大型でなくとも、同様の手続きと期間が必要になります。

本学の実績は、H26年度：72件、H27年度100件であり、一部基金課題が補助金課題に移行しているため、H28年度は120～130件と予想され、毎年増加傾向にあります。

(3) 基金と補助金で制度が異なる：取扱を分ける必要がある。

☞ 一部基金が最たる例（とにかく複雑で説明に苦慮する）

【補足説明】

一番複雑なのは実績報告書の作成です。一部基金だから何カ月要したというよりも報告書作成期限はすべて同じなのでその分、補助金・基金に分かれて管理・報告が必要になる分大変です。財会システムへの登録も補助金と基金に分けて行う必要があるので**2倍かかります**。その登録も補助金だけ（基金は使いきった）とか、基金だけ期間延長など複雑な場合が多いです。同じ課題だけれども、**基金と補助金では予算単位としては別管理で、使用ルールも異なるためあらゆる場面で、手続きが2種類、根拠資料等も2倍になることが多いが処理期限は、基金課題・補助金課題と異なることから、複雑で手間がかかりやすく、教員・事務の認識誤りも散見**されます。